

LIFE IN THE LIFE IN

03

「こんな時にリーディンググラスがあればよかった」と感じるようになったのは、日常生活よりむしろアウトドアや旅先であった。特に近ごろは、釣りに出掛けて細い糸を結ぶ時など、切実な課題になっている。釣りの現場というのは、風景の変化や水面のウキの様子など、常に遠くを凝視しているために、いざ手元に視線を移すと余計にピントが合いにくい。同じような事態は飛行機の中でも起こる。機内では景色を眺めたり撮影したりするのが好きなのだが、本や雑誌を読もうとする時には難儀するようになった。せめて、ビジネスクラスぐらいは、アメニティグッズの中に簡易のリーディンググラスを入れるといった気遣いがあったらいいのにと。入国書類の記入で四苦八苦している人も多いのではないだろうか。飛行機に限らず、観光地のアンティーク店や時計屋でも、リーディンググラスを気軽に貸し出してくれれば嬉しいのだが。

というような時に、筆者が重宝しているのが、このアウトドア専用のリーディンググラスである。一番の特徴はご覧のように、耳にかけるツルがないことだ。その代わりに短いポリアミド製のパーツが付いていて、これをこめかみに軽く挟んで使用するようになっている。これがかかり便利なシロモノで、着脱が簡単なうえ高張らないので釣りやアウトドア、旅先などでは重宝するのである。

もうひとつの利点は、フレームそのものが、メタルを一切使わない、3Dプリンター製の一体型素材であること。水に濡れても腐食しないのと、ネジがないので緩みも生じない。なにより柔軟性があるので、読書中にうっかり着けたまま寝落ちしても、フレームが歪んだり壊れたりするリスクが少ないことだ。まあ、これは旅先に限らず、日常のベッドで寝たまま読書する際にも好都合である。

グラスコードが標準装備されているので、フィールドに出かける時は、ネックレスのように着けっ放しにしている。まあ、一種のお守りのようなつもりで胸元に吊り下げておけば、イザというような時には、お守り以上に身を助けてくれるに違いない。

ちなみに、このリーディンググラスには度数のバリエーションもあるので、まずはご自分の度数を把握しておくことも大切かと。遠出をする時こそ、手元のピントも確保する。大人の世代の、旅を快適にする作法と心得るべし。

中村孝則

1964年、神奈川県葉山生まれ。ファッションや旅、食をテーマに雑誌やテレビで活動しているコラムニスト。現在、「世界ベストレストラン50」の日本評議委員長も務めている。著書に「名店レンビの巡礼修業」(世界文化社)、共著に「ザ・シガーライフ」(ヒロミエンタープライズ)がある。大日本茶道学会茶道教授。剣道教士七段。



[旅する道具考] 遠くに行くなら 近くのピントも 忘れずに

少し変わったデザインのリーディンググラスは、アウトドア向けに開発されたアイテム。寝落ちしても大丈夫なほどの柔軟性のある素材かつ軽量な眼鏡は、気軽に持ち運びたいアイテムのひとつとなるはず。

中村孝則・文
Text by Takanori Nakamura
三田村優・写真
Photograph by Yu Mitamura

アウトドアリーディンググラス hammoc (ハンモック)

福井県鯖江市を拠点とする「サンリーブ」による、アウトドアのためのリーディンググラス。その名の通り、ハンモックで寝てしまっても安心というコンセプトから誕生した。短いテンプル(つる)を特徴とする。デザインはラウンドと丸みのあるスクエアの2型。写真は、ブラック×ココヤシのカラーリングを施したラウンドモデルだ。専用フェルトケース(カラビナ付き)、グラスコード付属。「hammoc (ハンモック)」(HM-R1)。9350円。

高級腕時計の今を深く／自動巻き機構、何が正解なのか？／サプライヤーの政治学2022

www.webchronos.net

タグ・ホイヤー アクアレーサー ファーストモデルと
クロノス日本版 現行モデルを徹底比較

Chronos

11月号
NOV.
第103号
2022 no.103

サプライヤーの
政治学2022

[連載コミック]
腕時計
パラノイア列伝
第50回
「ラング&ハイネ——
マイクロメジンの
真価を問う」



[TEST ドイツ版翻訳記事]
ブライトリング
「スーパーオーシャン オートマチック 42
ケリー・スレーター
リミテッド エディション」
パネライ
「サブマーシブル
クアランタ クアトロ
eスティーレル™」

ワインディング
システム
研究

自動巻き機構、 何が正解なのか？